

この日コンサート会場が魔法領域に!

Healing、クリスタルボウル、数秘術、シャスタ、セドナ、ホピ、マヤ、アトランティス、レムリア、多次元宇宙、アセンション、フォトンベルト、声明、パワーストーン、YOGA、マクロビオティック、アンガージュマン、倍音、アーユルヴェーダ、Therapy、ダライ・ラマ法王、チベット、曼荼羅、ファンタジー、指輪物語、ハリー・ポッター、ホームイ、未来社会、シャンバラ、リラクゼーション、うさと、ホ・オポノポノ、熊野、Spiritual……

いま、これを読んでくださっているあなたは、上に挙げたキーワードの幾つに反応なさいましたか。4つ或いは5つほどに関心を示された方であれば、ぜひ、当コンサートにお出掛け下さい。コンサートの出演者である長屋和哉、奈良裕之、そして牧野持侑の3名の方は、メロディを奏でるタイプの音楽家ではありません。長屋さんは銅鑼やチベタンボウル、奈良さんはスピリット・キャッチャーや、ハンドラム、牧野さんはアルケミー・クリスタルボウルやシャンティ・チャイムなど、一般の西洋楽器とは様相の異なる楽器を駆使した演奏を行ないます。

音響楽器、鳴りものとも言いましょうか。音の響きを重ねていくことで音場空間を形成する演奏形態です。

そんな音の響きなんか聞いて楽しいんですか?! という声が聞こえてきそうな気がいたしますが、たとえば夜、ひとり静かに思索に浸るようなとき、ふと耳を澄ますとどこからともなく響いてく

る波の音を想像してみてください。さわやかな風のそよぎを感じてみてください。静寂と対峙するような落雷のおののきや音もなく降り積もる雪の感触を心に留めてみてください。

自然が作り出す音の響きには全てメッセージがあります。その音を聞いただけで目の前にはまざまざと情景が浮かんでくることに気づきます。

私たちの心には自然と一体になろうとする回帰本能があるのでしょうか。その自然の音を再現するかのように鳴り響くのが、長屋さん、奈良さん、牧野さんが奏でる「倍音の響き」です。

再生の地・熊野をテーマに長年制作を続けてきた長屋さんに、私は、闇を照らす月の神の姿を重ねてまいりましたが、全国津々浦々の神社仏閣を奉納演奏して巡る奈良さんには地の神・風の神の象意を、そしてまた、天界から降り注ぐかのような光のシャワーを奏でるアルケミー・クリスタルボウル奏者の牧野さんには陽の神のエネルギーを、それぞれ感じてきました。

お三方が同一会場で共演するのは今回が初めてです。月と地と太陽の神々がこの日、ソロ、デュオ、そしてトリオと形態を変えながら混ざり合うのですから、どれだけのエネルギーが放出されることになるのか。いまはわかりません。

ただひとつ言えることがあるとすれば、それはこうです。このコンサートを体験したあとでは、あなたも私も、もう前の自分にはもどれない!
文・金子夏枝(株式会社ピンポイント)



長屋和哉(ながや かずや)

<http://www.ame-ambient.com/>

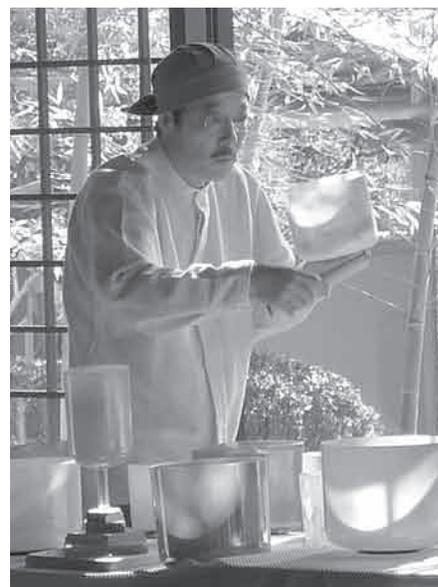
パーカッション奏者。ライブではゴングやシンギングボウルなどの金属製打楽器の他、揚琴を用いるが、CD作品ではギターやシンセサイザーなど様々な楽器を奏でる。「ガイアシンフォニー 第4番、第5番、第7番」「世界遺産(熊野・吉野編)」など、楽曲の多くを映画やテレビに提供している。TVのドキュメンタリー「神々の響きを求めて 熊野・千年の時を超えてこだまする音」(BS-i)や、07年公開の映画「ガイアシンフォニー 第6番」には自身も出演、話題を呼んだ。同年にエッセイ集「すべての美しい闇のために」(春秋社刊)を発表。CDに「うつほ」「千の熊野」「魂は空に 魂は地に」「イリュミナシオン/冥王星」「サイレントガーデン」などがある。



奈良裕之(なら ゆうじ)

<http://www.narayuji.com/>

パーカッション奏者。1994年より世界の民族楽器による即興演奏を始める。ライブワークとして、多くの福祉施設・教育施設・病院で演奏すると共に、日本各地の神社・寺・教会・遺跡などで奉納演奏を行う。また、音楽活動とは別に、写真や書による個展も開いている。ヨガとアーユルヴェーダの呼吸法を取り入れたヒーリング・ワーク「サイレント・セッション」や、舞踏・詩・絵画・写真などのコラボレーション、アイヌ詩曲舞踊団「モンリ」との共演で、日本列島スピリットツアーや、インドネシアでも演奏。07年公開の映画「ガイアシンフォニー 第6番」の「虚空の音」の章に出演。CDに「光の旋律」がある。



牧野持侑(まきの じゅん)

<http://crystalian.com/>

アルケミー・クリスタルボウル奏者。サウンドアルケミスト。1970年代から90年代の20年間、北カリフォルニアの各地で暮らす。音楽や食べ物(マクロビオティック&自然食)、旅やシャーマニズムなどへ興味を深める中、85年にクリスタルボウルと出会う。96年に帰国した後、伊豆波勝崎にクリスタルボウル・ヒーリングスペース「くりすたり庵」を、2008年には熱海市にアルケミー・クリスタルボウルの展示ギャラリーを開設。最新型のアルケミー・クリスタルボウルによる振動性音響ワークショップを提供するとともに、CDの制作や全国各地でのコンサート活動を展開している。CD&DVDに「倍音浴」「睡眠浴」「時空浴」「雷雨のあとに」などがある。

イラスト/サチ デザイン/野村高志+KACHIDOKI